

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC4E0E01 音楽教育学Ⅰ	阿瀧演 健一	単独	2単位	音楽学科 2年次	前期	※	必修			A B C E
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
「我が国の音楽教育の変遷と教育への思い」 我が国の音楽教育の変遷や学習指導要領の内容について理解することによって、音楽教育における指導者の役割と責任、今日的な教育課題を認識し、指導者としての基礎的な資質能力を身に付ける。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	・音楽と教育 ・音楽教育と音楽科教育	シラバスを熟読しておく	学校で音楽を教える意義をまとめる	9	・語め込みからゆとりへ 昭和52年改訂の背景と内容	昭和50年代の社会の様子を調べる	昭和52年改訂の背景と内容をまとめる		
	2	・明治の音楽教育 「学制」頒布から小学校令まで	明治時代の社会の様子を調べる	明治時代の音楽教育の特徴をまとめる	10	・個性重視の教育へ 平成元年の改訂の背景と内容	配付資料を読み、内容をまとめる	「音楽観」の変化をまとめる		
	3	・「唱歌」と「童謡」に込められた思い	大正時代の社会の様子を調べる	唱歌の変遷と童謡運動についてまとめる	11	・21世紀を見据えて 生徒をめぐる状況の変化	1990年代前半の社会の様子を調べておく	生徒をめぐる状況をまとめる		
	4	・戦前・戦中の教育 芸能科音楽 早期音楽教育	昭和初期の社会の様子を調べる	昭和20年までの音楽教育についての考えをまとめる	12	・21世紀を見据えて 平成10年改訂の基本的なねらい	配付資料を読み、改訂のねらいをまとめておく	「生きる力」についてまとめる		
	5	・教育の再構築 民主教育のいぶき	憲法の教育に関する条項の内容を調べる	戦前までの教育観との違いをまとめる	13	・学力観の転換 新しい学力観	「学力」をどうとらえるか、自分の考えをまとめておく	「新しい学力観」についてまとめる		
	6	・教育の再構築 学校教育における音楽の位置づけと学習指導要領（試案）	配付資料を読んでおく	教育の再構築にかけた思いをまとめる	14	・新しい学力観と音楽的視野の拡大	配布資料を読み「音楽」のとらえ方をまとめておく	音楽科の改善点をまとめる		
	7	・高度経済成長期の音楽教育 学習指導要領（試案の改訂）と昭和33年の改訂	昭和30年代の社会の様子を調べる	昭和33年改訂の背景と内容をまとめる	15	・まとめと試験（総復習）	今期の学修内容を見直し、質問事項を準備する	模範解答を元に自己解答の見直しをする		
8	・教科内容の量的拡大 昭和43年改訂の背景と内容	昭和40年代の社会の様子を調べる	昭和43年改訂の背景と内容をまとめる	備考 ※音楽教育コース必修						
教科書・テキスト等			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント				
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する			筆記試験 毎時間の振り返り、態度	70% 30%	内容の理解 事前事後学修の内容や意見の深まり、積極性				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC4E0E02 音楽教育学Ⅱ	阿瀧演 健一	単独	2単位	音楽学科 2年次	後期	※	必修			A B C E
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
「これからの音楽教育」 音楽教育の現状と課題や評価についての概要について学ぶこととおして、今日の教育課題を把握し、音楽教育における指導者の役割と責任、さらに指導者としての基礎的な資質能力について理解することができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	・平成20年度改訂の学習指導要領がねらうもの	前期学修内容を再確認しておく	平成20年改訂の背景と内容をまとめる	9	・新しい評価の考え方と音楽科における評価 3観点とその趣旨	音楽の授業でどのような評価を受けてきたかまとめる	音楽科で行われる評価方法をまとめる		
	2	・「共通事項」と言語活動	「共通事項」について調べる	言語活動についてまとめる	10	・題材の評価基準 表現領域と鑑賞領域	参考資料（テキスト）のp21～p32を読んでおく	評価規準に盛り込むべき事項を再確認する		
	3	・平成29年度改訂の基本方針と改訂の趣旨	配付資料を読んでおく	基本方針と改訂の趣旨をまとめる	11	・題材の観点別評価基準設定の実際 観点：主体的に学習に取り組む態度	配付資料を読んでおく	具体的評価規準を作成する		
	4	・求められる指導のあり方 育成すべき資質・能力の三つの柱 音楽科の見方・考え方	学習指導要領解説p1～p8を読んでおく	音楽科の目標と見方・考え方をまとめる	12	・題材の観点別評価基準設定の実際 観点：思考・判断・表現 観点：知識・技能	2観点の観点別評価規準を設定してみる	具体的評価規準を作成する		
	5	・求められる指導のあり方 主体的・対話的で深い学び	配付資料を読んでおく	これからの音楽教育のあり方について考えをまとめる	13	・学習活動に則した評価基準	配付資料を読んでおく	提示した題材の評価計画を作成する		
	6	・世界の主な教育論（討議） ダルクローズ、コダーイ、オルフ、J. バインター、鈴木鎮一、斎藤秀雄	主な教育論者（提示）を選び、調べておく	グループ内の情報を参考に、さらに深く調べる	14	・本時の評価の進め方と総括	評価方法を考え、評価のあり方について自分の考えをまとめる			
	7	・世界の主な音楽教育論（発表） ダルクローズ、コダーイ、オルフ	調べたことをまとめ、発表の準備をしておく	「世界の主な音楽教育論」についてレポートを書く	15	・まとめと試験（総復習）	今期の学修内容を見直し、質問事項を準備する	模範解答をもとに自分の解答を見直す		
8	・世界の主な音楽教育論（発表） J. バインター、鈴木鎮一、斎藤秀雄	調べたことをまとめ、発表の準備をしておく	「世界の主な音楽教育論」についてレポートを書く	備考 ※音楽教育コース必修						
教科書・テキスト等	学習指導要領解説音楽編（平成29年）（教育芸術社）、 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（東洋館出版）		成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント				
参考書・参考資料等	授業中、適宜資料を配付			筆記試験 毎時間の振り返り、態度	70% 30%	内容の理解 事前事後学修の内容や意見の深まり、積極性				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC4E0E03 教育制度論	阿瀧濱 健一	単独	2単位	音楽学科 3年次	前期		必修			A C D E
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
① 教育制度の意義・原理・構造について、法的・制度的仕組みの基礎的知識及び教育制度上の諸課題を理解する。 ② 学校と地域との連携の意義・協働の仕方について、事例を通して理解する。 ③ 学校事故・災害・事件の実情を知り、学校安全の目的、危機管理の具体的な取組みを理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	教育に関する制度的事項（学校制度の成立） 公教育の理念と発達、学校改革の現状、教育制度の区分について理解する	学校制度の系統について調べる	公教育の発達と現在の学校制度についてまとめる	9	教育に関する制度的事項（教育行政） 教育行政の理念と仕組みについて理解する	文科省・教育委員会の役割について調べる	教育行政の現状についてまとめる		
	2	教育に関する制度的事項（教育法規の体系） 法律主義の原則、社会権の規定、教育の法制について理解する	主な教育法規とその体系を調べる	教育は法律主義、社会権があることをまとめる	10	教育に関する制度的事項（教育委員会） 教育委員会のしくみ・就学・職務権限、教育委員会と学校について理解する	教育委員会の仕組みについて調べる	教育委員会の仕組み、権限、就学についてまとめる		
	3	教育に関する制度的事項（学校制度） 学校の設置、学級編成、教職員組織の概要について理解する	中等教育の学校とそれらの設置者について調べる	中学校、高校等の仕組みについてまとめる	11	教育に関する制度的事項（学校教育上の諸課題） 生徒指導上の諸課題について現状を理解する	いじめ・不登校・暴力行為等の現状について調べる	生徒指導上の諸課題についてまとめる		
	4	教育に関する制度的事項（義務教育制度） 就学義務、無償制度、就学援助、国庫負担制度の概要について理解する	義務教育の制度内容について調べる	義務教育の制度についてまとめる	12	学校と地域との連携（開かれた学校） 地域との連携、協働による教育活動の意義と方法、開かれた教育課程の在り方を理解する	コミュニティースクールの現状について調べる	地域との連携・協働による教育活動についてまとめる		
授業の概要	5	教育に関する制度的事項（教育活動） 教育活動の基本理念、教科指導、生徒指導について理解する	教育活動の基本理念の指導法を調べる	基本的な教科指導、生徒指導の在り方をまとめる	13	学校安全への対応（学校での事故等の実情、学校安全の必要性） 学校事故等の実情、学校保健安全法の内容、学校安全の必要性を理解する	学校管理下での事故等の実情について調べる	学校保健安全法に基づく学校安全についてまとめる		
教職課程履修者に、 ① 教育制度の概要と今日的な教育上の課題、教育関係法規について ② 学校と地域との連携 ③ 学校安全への対応を概説する。 また、教育職員としての使命感や基礎的な資質・能力を養う。	6	教育に関する制度的事項（教育課程の変遷、編成） 教育課程の変遷、教育課程の意義・原則、学習指導要領の基準性について理解する	教育課程と学習指導要領の関係について調べる	教育課程編成の原則、基準等についてまとめる	14	学校安全への対応（生活・交通・災害の安全教育、SNSの危険性、学校の危機管理） 学校管理下での安全指導・管理について理解する	学校管理下での安全教育内容について調べる	学校管理下での安全指導・管理についてまとめる		
	7	教育に関する制度的事項（教育課程の実施） 教育課程のマネジメント、教科書の意義、使用義務について理解する	教科書、補助教材の選定と使用について調べる	教科書、補助教材の意義と使用についてまとめる	15	教育に関する制度的事項（諸課題） 社会変化と学校課題、生徒の生活変化と指導の在り方、教師の学びの精神について理解する	教育制度上の諸課題について調べる	教師の組織的対応・協働・学びの精神についてまとめる		
	8	教育に関する制度的事項（教育職員） 教師に必要な資質能力、学級編成と教員数、学校の教職員組織について理解する	教師になるために必要な資格について調べる	教師の資格、適格性、教職員組織についてまとめる						
教科書・テキスト等	毎時プリント資料を配付する（学習指導要領・学校教育に関する答申・教育関係法規等）			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					課題レポート	60%	課題レポートを2回提出			
					授業態度	20%	授業の取り組み、意欲関心			
					学修課題への対応	20%	事前・事後学修の実績			
参考書・参考資料等										

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC4E0E04 特別支援教育論	河田 将一	複数	1単位	こども学科 2年次	後期		必修			CF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
①障害の特性、心身の発達、学習上・生活上の困難等の基礎的知識について理解し例示することができる。②特別支援教育に係る教育課程や支援方法を理解し例示することができる。③特別支援教育の体制整備、個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成、他機関等との連携について、その必要性と方法を理解し説明することができる。④母国語や貧困の問題等がもたらす特別的教育的ニーズに対しての組織的対応の必要性を理解し説明することができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	障害特性の理解と支援方法（1）障害特性、学習上・生活上の困難の理解	参考書の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作	7	特別な教育的ニーズの理解と対応 母国語や貧困の問題等がもたらす特別的教育的ニーズの理解と組織的対応	参考書・配布物の中から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作		
	2	障害特性の理解と支援方法（2）障害特性、学習上・生活上の困難を踏まえた支援方法の理解（1）アセスメントに基づく指導と支援を中心に	参考書・配布物から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作	8	試験と総括講義 試験とこれまでの授業の総括としての講義	これまで作った自作テキストで総復習しておく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを完成		
	3	障害特性の理解と支援方法（3）障害特性、学習上・生活上の困難を踏まえた支援方法の理解（2）ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり・指導と支援を中心に	参考書・配布物から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作						
授業の概要	4	特別支援教育の教育課程インクルーシブ教育システムの構築、就学先等の決定プロセスに関する理解、特別支援学校・特別支援学級・通級による指導に関する制度・内容の理解、自立活動とその内容の理解、交流及び共同学習の理解	参考書・配布物から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作						
発達障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が通常の学級にも在籍している現状を踏まえ、当該幼児、児童及び生徒が主体的に学習し、生きる力を身に付けていくために、彼らの学習上又は生活上の困難を理解した上で、個別的教育的ニーズを把握し、園・学校総体として関係機関とも連携した組織的対応をしていくために必要な知識や支援方法を理解する。	5	特別支援教育の体制整備 特別支援教育コーディネーターの指名、園・校内委員会の設置、研修の充実、特別支援学校のセンター機能の活用、データベースの活用、ケース検討会の充実	参考書・配布物から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作						
	6	個別の指導計画・教育支援計画の作成等 PDCAサイクルに基づく個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成、他機関との連携の重要性、移行支援の重要性	参考書・配布物から、授業と関連する記事等を読んでおく	配布物と書き取ったノートをまとめてテキストを自作						
教科書・テキスト等	毎回、授業データを書取り又は配布し、1冊のテキストが完成できるようにする。			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
					平常点	20%	本科目への関心・態度・意欲			
					課題/レポート	20%	知識、理解度、思考力、判断力、表現力			
					期末テスト	50%	知識、理解度、思考力、判断力、表現力			
参考書・参考資料等	特別支援教育研究（東洋館出版社：月刊）、実践障害児教育（学研：月刊）、特別支援教育（文部科学省：季刊）など									

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC4E0E05 教育課程総論	梶山 範夫	単独	2単位	音楽学科 3年次	前期	選択	必修			A B C
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
○自分が取り組んでみたいカリキュラムを開発する	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
学習指導要領に基づく教育課程編成の意義や編成方法、カリキュラム・マネジメントの意義等について理解するとともに、総合的な学習の時間の指導計画を作成することができる。	1	教育課程とは何か ・学習指導要領の性格と位置づけ ・教育課程編成の目的	学習指導要領の性格と位置づけについて調べる	学習指導要領の性格と位置づけについて整理する	9	教育課程編成の理論と方法② ・教育課程編成の基本原則 ・学校の教育目標と教育課程	教育課程編成の基本原則について調べる	学校の教育目標と教育課程の関係を整理する		
	2	教育課程と学力 ・学力調査と教育課程 ・求められる学力と教育課程	PISA・全国学力学習状況調査について調べる	教育課程と学力の関係について整理する	10	教育課程編成の実際① ・特色ある実践事例① ・教科や領域を横断する	教科や領域を横断する教育課程編成について調べる	特色ある実践校の取組を収集・整理する		
	3	学習指導要領の変遷① ・昭和22年版 昭和26年版 昭和33年版 ・社会背景と求められる学力	22・26・33年版学習指導要領について調べる	社会背景と求められる学力の関係を整理する	11	教育課程編成の実際② ・特色ある実践事例② ・単元や学年をまたぐ	単元や学年をまたぐ教育課程編成について調べる	特色ある実践校の取組を収集・整理する。		
	4	学習指導要領の変遷② ・昭和43年版 昭和52年版 平成元年版 ・教育課程の果たす役割と機能	43・52・元年版学習指導要領について調べる	教育課程の果たす役割と機能を整理する	12	カリキュラム開発ワークショップ① ・総合的な学習の時間の目標と内容 ・テーマ設定と付けたい力	総合的な学習の時間の目標と内容について調べる	設定したテーマと付けたい力との関係を吟味する		
授業の概要	5	学習指導要領の変遷③ ・平成10年版 平成20年版 ・学力とは何か	10・20年版学習指導要領について調べる	10・20年版学習指導要領について整理する	13	カリキュラム開発ワークショップ② ・内容の選択と配置 ・他教科や領域との効果的な関連	テーマを踏まえ、学習の素材になるものを集める	多様なカリキュラム評価の方法を比較して整理する		
学習指導要領に基づいて各学校の教育課程が編成され、それに基づいて日々の授業や教育活動が実践される。学校教育の柱ともいえる教育課程編成の原理や方法を明らかにし、それを踏まえて総合的な学習の時間の指導計画を作成する。学習指導要領の変遷の背景と次期学習指導要領への理解を促す。	6	次期学習指導要領① ・身に付けるべき資質・能力 ・主体的・対話的で深い学び	次期学習指導要領のポイントについて調べる	次期学習指導要領のポイントについて整理する	14	カリキュラム評価 ・評価の目的 ・評価の内容と方法	カリキュラム評価の方法について調べる	多様なカリキュラム評価の方法を比べて整理する		
	7	次期学習指導要領② ・社会に開かれた教育課程 ・カリキュラム・マネジメント	カリキュラム・マネジメントの意義について調べる	社会に開かれた教育課程の意義を整理する	15	教育課程と授業デザイン ・教材開発 教材研究 授業デザイン ・創造的なカリキュラムと豊かな授業	試してみたい楽しい授業について構想する	身の回りからカリキュラム開発の種を見つける		
	8	教育課程編成の理論と方法① ・経験主義の教育課程 ・系統主義の教育課程	経験主義・系統主義の教育課程について調べる	経験主義・系統主義の教育課程について整理する						
教科書・テキスト等	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編(東山書房)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
				試験・レポート	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え				
				課題への取組	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況				
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。			平常点	20%	意見交流への前向きな参加態度				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
総合的な学習の時間の指導法	大野 朗久	単独	1単位	音楽学科 2年次	後期		必修			A B C F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
・総合的な学習の時間の教育的意義及び学習指導要領の趣旨・内容を理解する。 ・総合的な学習の時間で育成する知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう人間性等について、具体的実践に学び、取組みの方法を修得する。 ・各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの重要性を理解するとともに、探究的な学習の過程を考慮した単元や授業の構想を修得する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	ガイダンス、講義の概要、総合的な学習の時間の教育的意義Ⅰ(学びの視点)	テキストを読み概略を把握する	講義で出てきた用語(キーワード)をノートにまとめる						
	2	ガイダンス、講義の概要、総合的な学習の時間の教育的意義Ⅱ(歴史的背景、目標・内容)	テキストに記載されている目標及び内容を調べておく	目標及び内容のキーワードを抽出し、ノートにまとめる						
	3	ガイダンス、講義の概要、総合的な学習の時間の教育的意義Ⅲ(望ましい人間関係、指導原理)	教員のリーダーシップについて、自分で調べておく	教師力をつけるために何が必要だったか考える						
	4	総合的な学習の時間の実践Ⅰ(探究のプロセス)	テキストに示してある探究のプロセスを熟読しておく	ふるさと創造学の学修で何が大切であったかまとめる						
授業の概要	5	総合的な学習の時間の実践Ⅱ(探究の時間・探究の姿)	探究の在り方について自分なりの考えをまとめる	質の高い探究の姿とはどのようなことかまとめる						
・今日の教育を取り巻く環境の変化に柔軟に対応できる資質・能力を修得するとともに、教職員としての基本的資質や専門性を養う。 ・理論と実践を柔軟に組み合わせ、探究的な学習の課程における指導のポイント、留意点を理解するとともに、年間指導計画の作成及び評価のあり方について修得する。	6	総合的な学習の時間の展開Ⅰ(STEAM教育課題の設定、情報の収集)	課題の設定から情報の収集までの手法を調べておく	課題の設定から情報の収集までの手法を再確認する						
	7	総合的な学習の時間の展開Ⅱ(整理・分析まとめ・表現)	整理・分析からまとめの手法を調べておく	整理・分析からまとめまでの実践的手法を再確認する						
	8	総合的な学習の時間の年間指導計画・単元計画の作成及び評価・まとめ	指導計画の作成及び実施上の記載事項を熟読しておく	今まで学修した内容を整理し資料をまとめる						
教科書・テキスト等	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編(東山書房) 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編(学校図書)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
				授業における発言内容						
				授業レポート						
参考書・参考資料等	特別活動・総合的な学習の理論と指導法(弘文社) その他新聞記事等を活用し、適宜配布する。			感想及び試験を総合						

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC4E0E07 特別活動の指導法	井手 公二	単独	2単位	音楽学科 2年次	後期		必修			A C D E
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
特別活動について理解を深め、実践的な指導力を修得する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 特別活動と教育課程の編成	学習指導要領解説特別活動編の該当箇所を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する	9	学校行事の目標と内容	学習指導要領解説特別活動編の該当箇所を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する		
	2	特別活動の変遷	学習指導要領解説特別活動編の該当箇所を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する	10	学校行事の指導計画と作成	学習指導要領解説特別活動編の該当箇所を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する		
	3	特別活動の目標と内容	学習指導要領解説特別活動編の該当箇所を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する	11	特別活動の指導案考察	配付プリント資料を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する		
	4	特別活動の基本的な性格と教育的意義	学習指導要領解説特別活動編の該当箇所を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する	12	指導案の作成	配付プリント資料を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する		
授業の概要										
特別活動の教育的意義及び各分野の内容と特質、指導法を研究する。	5	学級活動の目標と内容①	学習指導要領解説特別活動編の該当箇所を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する	13	指導案作成と検討	配付プリント資料を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する		
	6	学級活動の目標と内容②	学習指導要領解説特別活動編の該当箇所を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する	14	特別活動の評価	学習指導要領解説特別活動編の該当箇所を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する		
	7	学級活動の指導計画	学習指導要領解説特別活動編の該当箇所を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する	15	まとめ	配付資料をまとめておく	実践につながるよう整理しておく		
	8	生徒会活動の目標と内容	学習指導要領解説特別活動編の該当箇所を読んでおく	講義内容確認と資料を整理する						
教科書・テキスト等	中学校学習指導要領解説特別活動編（最新版）（東山書房）、適宜プリント資料を配付する。			成績評価基準	評価方法		割合(%)	評価のポイント		
参考書・参考資料等					期末試験	60%	筆記試験			
					課題提出	20%	小テスト等			
					平常点	20%	講義内容についての理解度、学修態度			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC4E0E08 教育方法・技術（ICT活用の理論と実践を含む。）	堀山 範夫	単独	2単位	音楽学科 2年次	前期		必修			A B C D
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
○授業を創る	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
教師は、生徒の学びを促し、教育効果を上げるために、多様できめ細かい指導の工夫を様々な場面に凝らしている。授業の方法や技術、ICTの効果的な活用について考え、学習指導案の作成と模擬授業の実施によって実感的に理解する。	1	授業・学力とは何か 授業の構成要件、学力の三要素、資質・能力の三つの柱等について理解する	学力の三要素、育む資質・能力について調べる	学力、資質能力はどうすれば育つか考える	9	ICTを活用する① 情報活用能力、情報モラルを育む指導の具体案を構想する	情報モラルに関わる問題事例を調べる	情報機器の多様な活用方法を考える		
	2	授業の理論と実践をつなぐ 多様な方法論を知り、理論と実践をどうつなぐかについて話し合う	いろいろな授業の方法論について調べて整理する	教育方法の基礎的理論と実践展開を整理する	10	ICTを活用する② ICTによる遠隔授業、デジタル教材の作成と利用、個別最適な学びの実現について考える	「デジタル教材」の活用例について調べる	ICTの多様な効果的な活用方法を整理する		
	3	学習指導要領とこれからの授業 主体的・対話的で深い学びの、特別な支援を要する生徒への配慮について話し合う	主体的・対話的で深い学びについて調べる	特別な支援を要する生徒への配慮を整理する	11	ICTを活用する③ ICTによる教育データの活用、校務効率化の推進について理解する	学校における授業外でのICT活用事例について調べる	教育や校務に資するICT活用について整理する		
	4	「令和の日本型教育」とICT活用 誰一人取り残さずことのない学びを実現するためのICTの活用について話し合う	「令和の日本型学校教育」について調べる	ICTの効果的な活用について整理する	12	学習指導案を書く 発問・板書・デジタル教材・ICT活用場面等を具体化し、指導案を作成する	自分が目指す授業イメージを具体化する	模擬授業に向けた準備や練習をする		
授業の概要										
教育方法の基礎的理論と実践について紹介し、授業を構想する際の基本的な事項、指導する際の基礎的技術、ICTの効果的な活用について学び、学習指導案を書き、模擬授業を行うことを通して、よりよい授業の方法について理解し、基礎的な指導技術を身に付けていく。	5	授業を構想する① 目標設定、教材研究、生徒理解、指導方法、評価計画等について話し合う	授業の目標・内容・方法・評価の関係について調べる	授業の目標・内容・方法・評価の関係を整理する	13	模擬授業をする① ICTを効果的に活用しながら、目標達成に向けた効果的な模擬授業を行う	教材の準備、ICT機器の試行をする	模擬授業を踏まえて学習指導案を修正する		
	6	授業を構想する② 学習指導案の形式と内容について理解し、単元構成、1時間の展開について考える	単元構成、授業展開の工夫について調べる	単元構成、授業展開の工夫を整理する	14	模擬授業をする② ICTを効果的に活用しながら、目標達成に向けた効果的な模擬授業を行う	教材の準備、ICT機器の試行をする	模擬授業を踏まえて学習指導案を修正する		
	7	指導技術を学ぶ① 発問・指示・説明・板書・教材・教具・学習形態等の基礎的技術について理解する	効果的な発問や板書、学習形態等について調べる	効果的な発問や板書、学習形態等々を整理する	15	授業とは何か 学修を通して変化した「授業観」を交流し、目指す授業について話し合う	自身が考える「よい授業」について整理する	「授業」に対する自分の考えを整理する		
	8	指導技術を学ぶ② ICTによる教材作成と提示、一人一台端末の効果的な活用方法について話し合う	ICTの活用状況について調べる	ICTの多様な効果的な活用方法を考える						
教科書・テキスト等	中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（東山書房）			成績評価基準	評価方法		割合(%)	評価のポイント		
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。				試験・レポート	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え			
					事前準備	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況			
					平常点	20%	意見交流への前向きな参加態度			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC4E0E09 生徒指導の理論と方法	榎山 範夫	単独	2単位	音楽学科 2年次	前期		必修			A B C
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
○生徒指導の現状を知る	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
生徒指導の基礎理論を踏まえながら、生徒指導上の問題の現状を把握し、具体的な対応について考える。そのことを通して、実践的な指導力を身につける。	1	生徒指導の意義と課題 ・ 生徒指導の意義 ・ 発達観、指導観	テキスト「意義と課題」に関する箇所を読む	生徒指導の意義と課題について整理する	9	いじめ問題 ・ 「いじめ」の定義の変遷 ・ いじめ問題への対応	テキスト「いじめ」に関する箇所を読む	新聞等の「いじめ」報道から現状を把握する		
	2	生徒指導の方法原理 ・ 集団指導の方法原理 ・ 個別指導の方法原理	テキスト「指導の方法原理」に関する箇所を読む	集団と個別の方法原理を対比的にまとめる	10	不登校問題 ・ 「不登校」とは ・ 不登校問題への対応	テキスト「不登校」に関する箇所を読む	新聞等の「不登校」報道から現状を把握する		
	3	教育課程と生徒指導 ・ 教育課程における位置付け ・ 教科、領域等における指導	テキスト「教育課程」に関する箇所を読む	教育課程における生徒指導の位置付けをまとめる	11	暴力行為 ・ 校内暴力への対応 ・ 家庭内暴力への対応	テキスト「暴力行為」に関する箇所を読む	新聞等の「暴力行為」報道から現状を把握する		
	4	生徒理解と生徒指導 ・ 生徒理解とは ・ 生徒理解の方法と留意点	テキスト「生徒理解」に関する箇所を読む	生徒理解の資料収集の方法と留意点をまとめる	12	今日的な生徒指導上の課題への対応 ・ インターネット、性 ・ 命の教育、自殺防止	テキスト「今日的課題」に関する箇所を読む	新聞等の「SNS」「自殺」報道から現状を把握する		
	5	校内生徒指導体制の確立 ・ 校務分掌上の立場や役割 ・ 目標、基本方針、指導計画	テキスト「生徒指導体制」に関する箇所を読む	テキスト「評価」に関する箇所を読み整理する	13	法令と生徒指導 ・ 校則と法令 ・ 懲戒、体罰と法令	テキスト「法令」に関する箇所を読む	新聞等の「体罰」報道から現状を把握する		
	6	教育相談 ・ 教育相談の意義 ・ 教育相談の進め方	テキスト「教育相談」に関する箇所を読む	教育相談体制と生徒指導体制の違いを整理する	14	家庭・地域・関係機関との連携 ・ 家庭や地域における生徒 ・ 学校や家庭、地域、関係機関との連携	テキスト「連携」に関する箇所を読む	連携する関係機関を把握し、整理する		
	7	生徒全体への指導 ・ 教員の役割 ・ 基本的な生活習慣確立 規範意識醸成	テキスト「全体への指導」に関する箇所を読む	テキスト「担任」に関する箇所を読み整理する	15	これからの生徒指導 ・ 予防と治療 ・ 自己存在感を育む	自分はどうな生徒指導を行う教師になるか考える	生徒指導に関する報道から現状を把握する		
	8	個別の問題行動への指導 ・ 近年の問題行動の特徴 ・ 問題行動への対応の視点	近年の問題行動の特徴と対応について調べる	新聞等の報道に関心を持ち、いまの課題を把握する						
教科書・テキスト等	生徒指導提要(教育図書)	成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント					
			試験・レポート	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え					
			課題への取組	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況					
			平常点	20%	意見交流への前向きな参加態度					
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。									

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC4E0E11 教職実践演習	岩山 恵美子	単独	2単位	音楽学科 4年次	後期		必修			A B C E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
教育の諸問題について、自分の考えをまとめることができる。学びを深める授業を構想し、指導案を作成・模擬授業をすることができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
学校教育に関する諸問題についての現状と対応策について調査・研究し、意見交換を通して、各課題についての理解を深め、自分なりの考えをもつ。	1	教育実習で得たもの(グループ討議)	教育実習で使用した資料を見直しておく	「私にとって教育実習の価値」をまとめる	9	ICTを活用した授業の工夫～実践例から学ぶ～(座学)	教育実習でのICT活用の体験をまとめておく	実習時の指導案をICT活用の視点で見直し修正する		
	2	教師に求められるもの(グループ討議)	論点整理などをもとに、求められる教師像を調べておく	「教師像」について自分の考えをまとめる	10	学びを深める授業を構想～アクティブラーニングの視点	模擬授業用の教材を選び、視聴演奏しておく	実習時の指導案をアクティブラーニングの視点で見直す		
	3	学習支援ボランティア活動に参加して学んだこと(グループ討議)	学習支援ボランティア活動の取り組みをまとめておく	「児童・生徒理解」について自分の考えをまとめる	11	授業構想の再検討	本時の展開案を作成しておく	学習カード等、必要な教材・教具を作成・準備する		
	4	特別支援教育と音楽(グループ討議)	特別支援教育について調べておく	今日のテーマについて自分の考えをまとめる	12	模擬授業と討議(鑑賞) 教材例: プルタバ	指導案を作成し、教材や使用機器の確認をしておく	授業者は指導案を改善し、生徒役は気づきをまとめる		
	5	特別な配慮を要する子どもへの対応～音楽療法の視点から～(講演)	講師への質問を準備しておく	今日のテーマについて自分の考えをまとめる	13	模擬授業と討議(歌唱) 教材例: 花	指導案を作成し、教材や使用機器の確認をしておく	授業者は指導案を改善し、生徒役は気づきをまとめる		
	6	学級経営と集団づくり(グループ討議)	教育実習での学級経営の様子をまとめておく	「集団づくり」について自分の考えをまとめる	14	模擬授業と討議(創作) 教材例: 和音の音を使って	指導案を作成し、教材や使用機器の確認をしておく	授業者は指導案を改善し、生徒役は気づきをまとめる		
	7	保護者・地域との関係づくり(講演)	講師への質問を準備しておく	「保護者・地域との連携」についての考えをまとめる	15	模擬授業と討議(歌唱) 教材例: 浜辺の歌 レポート課題の提示	指導案を作成し、教材や使用機器の確認をしておく	授業者は指導案を改善し、生徒役は気づきをまとめる		
	8	授業実践から学ぶ(小学校:歌唱/中学校:鑑賞)	歌唱・鑑賞領域の指導目標・内容を確かめておく	「生徒の思考を促す工夫」についての気づきをまとめる						
教科書・テキスト等	学生作成の資料	成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント					
			レポート	40%	課題についての内容充実・論旨の一貫性					
			課題検討への取り組み	40%	事前・事後学修の深まり・積極的参加					
			平常点	20%	毎時間の振り返り、理解度、自分なりの考え					
参考書・参考資料等	授業中、適宜資料を配付する									

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC4E0E10 教育実習指導(事前・事後指導含む)	榎山 範夫	単独	1単位	音楽学科 3年次	後期		必修			A B C D
授業のテーマ及び到達目標		授業計画								
<p>・教育実習の意義について理解し、実習目標を立てることができる。</p> <p>・各自作成した学習指導案をもとに、中心活動部分の指導ができる。</p> <p>・指定された7つの楽曲の伴奏を間違わずに弾き、教室内に届く声で歌うことができる。</p> <p>・教員採用試験に向けての準備学習計画を立てることができる。</p>	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	教育実習までのスケジュール 教育実習の意義・内容	シラバスを熟読しておく	「心に残っている教師」についてまとめる	9	<4年次：直前指導> 教育実習実施までの準備と諸手続き 校長会との申し合わせ事項の確認 実習参加における留意点	実習受け入れ校、実習期間、本学の指導教員を確認する	必要書類を提出後、指導教員による個別面談を受ける		
	2	教育実習の実践に当たって ・4年生との懇談	教育実習概説を読んでおく	教育実習までに身につけておきたいことをまとめる	10	<4年次：事後指導> 教育実習の反省と総括 教育現場に立つまでの学修計画と諸手続き	実習時の諸資料を読み返しておく	自分に必要な資質能力を考え、今後の学修計画を立てる		
	3	生徒の素顔 実習を受け入れる立場から	教育実習概説を読んでおく	教育実習に対する思いをまとめる	11					
	4	音楽の授業づくり 領域・題材・教材について	中学校学習指導要領解説音楽編を読み直しておく	模擬授業のための教材を選択し、分析をする						
	5	模擬授業ガイダンス 指導案の形式 評価規準の作成について	教育実習概説を読んでおく	題材名、教材名を確定し、指定日までに教務課に届ける						
	6	人権教育についての講座 (熊本県教育委員会人権回和教育課より招聘)	人権啓発リーフレット(事前配付)を読んでおく	「人権教育の意義」について自分の考えをまとめる						
	7	模擬授業と弾き歌い	学習指導案の作成と模擬授業の準備、弾き歌いの練習	模擬授業での指導をもとに学習指導案を見直し修正する						
8	教育実習までの課題 模擬授業の反省と課題 教育実習の実際と現場の願い	模擬授業で気付いたことをまとめておく	指導案作成について整理。教育実習への抱負をまとめる							
教科書・テキスト等	教育実習概説(平成音楽大学)、中学校学習指導要領解説音楽編(平成29年)(教育芸術社)、中学生の音楽1、中学生の音楽2・3上、中学生の音楽2・3下(教育芸術社)		成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント				
参考書・参考資料等	「指導と評価の一本化」のための学習評価に関する参考資料(中学校音楽)(東洋館出版社)授業中、適宜資料を配付する			模擬授業	60%	指導案、準備・板書、発問・応答、音楽指導				
				弾き歌い	20%	伴奏の正確さ、歌唱：リズム、音程、音量等				
				教育支援ボランティア	10%	ボランティアの取り組みと生徒理解				
				毎時間の振り返り	10%	理解度、事前事後学修の取り組みと内容				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー	
MC4E0E12 教育実習 I	岩山 恵美子 榎山 範夫	単独	4単位	音楽学科 4年次	前期		必修			A B C D E F	
授業のテーマ及び到達目標		成績評価規準									
<p>生徒や教職員とのふれ合いを通して、これまで学修してきた教職科目や専門科目の理論と実践の統合を図り、教師としての資質能力、基礎的な知識や技能を身に付ける。</p> <p>・教職の意義や教員の役割、職務内容、生徒に対する責任などについての理解を深める。</p> <p>・生徒の生活や学習の実態、心理や行動を理解する。</p> <p>・生徒主体の授業、深い学びの授業づくりについて理解を深める</p> <p>・教科指導だけでなく、教育全般について理解を深める。</p>		<p>・実習校による「教育実習評価」を下記の評価項目について5段階評価で行う。</p> <p>・項目ごとに、5(秀、優) 4(良) 3(可) 2(不可、劣) 1(不可、非常に劣)の達成度で評価する。</p> <p>・「教育実習評価」が6割に満たない場合は「不可」とする。</p>									
<p>○教育実習は、母校又は協力校(中学校)で3週間の連続した実習を行う。</p> <p>○以下の内容を、実習校の指導計画に従い指導担当教諭の下で実習する。</p> <p>・講話 ・授業観察、授業参加、実地授業 ・研究授業 朝の会、帰りの会の指導、給食指導、清掃指導等</p> <p>・教室設営及び学級事務処理等</p> <p>・朝のボランティア活動</p> <p>・部活動指導等</p> <p>○教育実習の内容と反省を「教育実習記録」に毎日記入し、提出する。</p>		勤務状況	・教員として相応しい服装、髪型、言葉づかい ・遅刻、欠席が無く実習に専念								
		実習態度	<p>教職員との協調と指導の受け入れ</p> <p>・指導講話、指導助言を積極的に受け入れ、生かす ・部活動指導、職員作業等へ積極的に参加</p> <p>検討会・反省会</p> <p>・授業検討会・反省会での意見発表と自己評価 ・検討会・反省会の内容整理と指導力向上</p> <p>実習記録</p> <p>・実習記録、諸届けの提出状況 ・観察や検討会、実習の成果を踏まえた記録内容</p>								
<p>○学内の通常授業としては開講されない。</p> <p>○実習校の教育実習計画に従って実施される。</p>		学習指導	<p>教材研究及び準備</p> <p>・事前の教材研究の深まり ・学習活動に必要な教材・教具・資料作成、板書計画</p> <p>学習指導案の作成</p> <p>・題材の目標を捉え、目標達成に向けての学習活動の構想 ・発問構想、生徒の反応予想に基づく支援や評価の観点から踏まえた学習指導案</p> <p>授業展開における指導</p> <p>・課題提示、発問、板書など学習活動を活発にする工夫 ・机間指導等での適切な言葉かけと評価</p>								
		生徒指導	<p>生徒指導 生徒指導</p> <p>・生徒との良好な関係づくり ・休み時間、委員会活動、学校行事等での積極的な関わり</p> <p>学級活動</p> <p>・学級活動、朝の会、帰りの会、係活動、当番活動での適切な指導 ・衛生面・安全面に留意した給食指導や清掃指導</p>								
		学級経営	<p>学級経営</p> <p>・教室設営、整理整頓、戸締まり等の管理への協力 ・生徒の作品やワークシートなどの適切な評価と取り扱い</p>								
参考書・参考資料等	中学校学習指導要領解説音楽編(平成29年)(教育芸術社)、各実習校で使用している教科書、指導書など										

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC4E0E13 教育実習Ⅱ	岩山 恵美子 榎山 範夫	単独	2単位	音楽学科 4年次	後期		選択必修			A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標			成績評価規準							
生徒や教職員とのふれ合いを通して、これまで学修してきた教職科目や専門科目の理論と実践の統合を図り、教師としての資質能力、基礎的な知識や技能を身に付ける。 ・教職の意義や教員の役割、職務内容、生徒に対する責任などについての理解を深める。 ・生徒の生活や学習の実態、心理や行動を理解する。 ・生徒主体の授業、深い学びの授業づくりについて理解を深める。 ・教科指導だけでなく、教育全般についての理解を深める。			・実習校による「教育実習評価」を下記の評価項目について5段階評価で行う。 ・項目ごとに、5（秀、優） 4（良） 3（可） 2（不可、劣る） 1（不可、非常に劣る）の達成度で評価する。 ・「教育実習評価」が6割に満たない場合は「不可」とする。							
授業の概要 ○教育実習は、母校（高等学校）で2週間の連続した実習を行う ○以下の内容を実習校の指導計画に従い指導担当教諭の下で実習する。 ・講話 ・授業観察、授業参加、実地授業 ・研究授業 ・ホームルーム指導、給食指導、清掃指導 ・教室設営及び学級事務処理等 ・朝のボランティア活動 ・部活動指導 ○教育実習の内容と反省を「教育実習の記録」に毎日記入し、提出する。			実習態度	勤務状況	・教員として相応しい服装、髪型、言葉づかい ・遅刻、欠席が無く実習に専念					
				教職員との協調と指導の受け入れ	・指導講話、指導助言を積極的に受け入れ、生かす ・部活動指導、職員作業等へ積極的に参加					
			学習指導	検討会・反省会	・授業検討会・反省会での意見発表と自己評価 ・検討会・反省会の内容整理と指導力向上					
				実習記録	・実習記録、諸届けの提出状況 ・観察や検討会、実習の成果を踏まえた記録内容					
授業計画 ○学内の通常授業としては開講されない。 ○実習校の教育実習計画に従って実施される。			生徒指導	教材研究及び準備	・事前の教材研究の深まり ・学習活動に必要な教材・教具・資料作成、板書計画					
				学習指導案の作成	・題材の目標を捉え、目標達成に向けての学習活動の構想 ・発問構想、生徒の反応予想に基づく支援や評価の観点を踏まえた学習指導案					
参考書・参考資料等 高等学校学習指導要領解説芸術（平成30年）（教育出版）、各実習校で使用している教科書、指導書など				授業展開における指導	・課題提示、発問、板書など学習活動を活発にする工夫 ・机間指導等での適切な言葉かけと評価					
				生徒指導 生徒指導	・生徒との良好な関係づくり ・休み時間、委員会活動、学校行事等での積極的な関わり					
				学級活動	・学級活動、朝の会、帰りの会、係活動、当番活動での適切な指導 ・衛生面・安全面に留意した給食指導や清掃指導					
				学級経営	・教室設営、整理整頓、戸締まり等の管理への協力 ・生徒の作品やワークシートなどの適切な評価と取り扱い					